



2022年9月13日

各 位

会 社 名 nms ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 文明
(コード：2162 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
(TEL：03-5333-1711 (代表))

**営業外収益（為替差益）の計上および
2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2023年3月期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）において、営業外収益（為替差益）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、グループ全体で業績改善に向けた抜本的基盤強化策の実行を着実に進めており、利益は前回予想に対し改善する見込みです。これらの動向等を踏まえ、2022年5月13日公表の2023年3月期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

第1四半期末に為替差益332百万円を計上しましたが、第2四半期も円安の動向が続いたことにより、当第2四半期連結累計期間において、為替差益750百万円を計上する見込みとなりました。これは主に海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等によるものです。

2. 業績予想数値の修正

(1) 2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 36,000	百万円 △370	百万円 △340	百万円 △480	円 銭 △30.88
今回修正予想 (B)	36,100	△270	310	50	3.22
増 減 額 (B-A)	100	100	650	530	
増 減 率 (%)	0.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期累計)	30,430	△237	51	△282	△16.89

(2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 77,100	百万円 600	百万円 450	百万円 50	円 銭 3.22
今回修正予想 (B)	78,000	800	650	250	16.08
増減額 (B-A)	900	200	200	200	
増減率 (%)	1.2	33.3	44.4	400.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	63,277	△361	122	△1,980	△121.17

2. 修正の理由

中国ロックダウンによる稼働影響や部品・部材価格の高騰、物流コスト上昇等の影響があるものの、各事業とも売上確保に向けた取り組みと、抜本的基盤強化策の実行を着実に進めており、営業利益は当第2四半期連結累計期間において改善が見込まれ、通期でも前回予想を上回る見込みです。

経常利益も、営業利益の改善に加え、為替相場の変動による為替差益発生等により、前回予想から大幅に改善する見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益、経常利益の改善により、前回予想を上回る見込みです。

今後も先行き不透明な事業環境が継続し、サプライチェーンの混乱や部品不足の解消等が落ち着くまで一定の期間を要すると見ているものの、各事業におけるお客様の挽回生産の動きや次年度につながる新規受注の獲得等に加え、これまで進めてきた業務効率の改善や間接費用の見直し、不採算事業の整理等、抜本的基盤強化策の効果もあり、業績は堅調が続く見通しです。

なお、本年3月に、22年度(23年3月期)を初年度とする中期経営計画を策定し、アクションプランの実行を進めていますが、現計画の前提となる市場・事業環境や為替相場が大きく変動していることに加え、投資の見極めや事業戦略の見直し、これまでの成果も踏まえ、改めて23年度(24年3月期)からの3か年における、新・中期経営計画を当年度内に策定することとしております。計画が纏まり次第お知らせいたします。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。